

発酵の仕組み楽しく学び

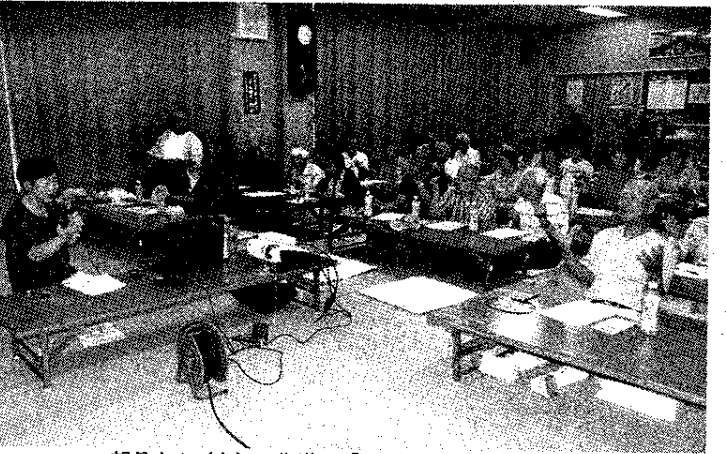
富士宮高校会議所が講座 小学生がクリームチーズ作りなど挑戦



富士宮市内の高校生で構成する富士宮高校発酵について理解を深めたい。講座が7月29日、同市朝日町の貴が連携し、若者ならで幸・華月で開かれた。はの視点を生かして地小学生8人が高校生の域振興、地方創生、指導の下でクリームチ地域ビジネスの手法などーズ作りなどにチャレについて実践を通して

「脳活」や「スロトレ」学び

社協運動の楽しい児童の作文発表も



望月さん(左)の指導で「脳活」に取り組む参加者

地元食材生かして調理し試食

21人が石川さんの指導で



石川さん(右)の調理デモンストレーションを見つめ説明を聴く受講者

富士宮市立富士根南公民館主催の親子味覚料理教室が7月29日、同公民館で開かれた。レストラン Mitsuru(同市小泉のオーナー)が講師を務め、地元産の食材を生かした料理を紹介・指導。小学生とその保護者21人が、活躍する石川光博さんが講師を務め、地場産の食材を生かした料理を紹介・指導。小学生とその保護者21人が、

全日本年金者組合

富士支部 富士宮支部

『私の戦時体験記』平和の伝言』16集発刊

全日本年金者組合富士支部、富士宮支部は、の尊さをかみしめる伝言にしたい」と両支部では話している。

全日本年金者組合富士支部、富士宮支部は、の尊さをかみしめる伝言にしたい」と両支部では話している。



戦時体験と平和への思いは、▽富士宮市に墜落したB-29の恐怖▽歴史の歩みを歪(ゆが)める教育勅諭(ごうりょ)の恐ろしい影響▽語彙美の動き▽富士飛行場の建設に強制従事された中国人の悲劇▽軍曹川工廠(こうじょう)の跡地見学に参加した人たちの感想文などを収めた。豊川空襲で同工廠は壊滅し、動員生徒を含め多くの犠牲者が出ている。

調査記録「お寺の鐘は二度出征」は富士市入山瀬の土屋芳久さんが太平洋戦争直前から敗戦までの、同市内にある寺などからの金属

回収の様子を丹念な調査に基づき報告。また、米軍の撤去に向けて闘いの日々を送る「戦前の日本では軍需品の原料である鉄は、ほとんどアメリカの鉄くず購入に依存していた」とし、「国内の鉄や銅の回収を図っても追いつかないことを知っているが進行していると危惧せざるを得ません」と結んでいる。

「平和の伝言」第16集に関する問い合わせは、富士地域労働組合連合会内の年金者組合富士支部・富士宮支部(電話0545-641250)へ。

誕生おめでとう

(7月27、30日)

◇富士宮市

- 吉田莉緒(貴洋さん) 小泉
- 松本心彩(秀一さん) 外神
- 遠藤花音(彰斗さん) 富士見ヶ丘

◇富士市

- 元安湖詩(一夫さん) 久沢
- 川口一太郎(一弘さん) 伝法
- 小林来叶(洋平さん) 厚原
- 飯塚美咲(晃一朗さん) 中丸
- 梶ひまり(弘幸さん) 富士見台2丁目
- 安藤菜(幸則さん) 横割6丁目
- 久保田大輝(貴之さん) 北松野
- 鈴木結菜(優太さん) 大淵
- 望月澤(結那さん) 増川
- 高橋来叶(優樹さん) 原田
- 川島小嬢(直樹さん) 依田橋町